

大阪労働局発表
令和5年4月27日（木）

【照会先】
大阪労働局職業安定部職業安定課
（電 話）06（4790）6300



大阪労働局（局長 木原 亜紀生）では、府内8か所のハローワークと、がん診療連携拠点病院等が連携して、がん患者等に対して治療と職業生活の両立のための専門的な就職支援を行っております。

治療と仕事を両立させるためには、事業主の方々の「がん対策や両立支援に対する意識、積極的な取組」が重要となりますので、大阪労働局では、従業員のがん対策を積極的に推進し、中小企業のがん対策の実践を支援する大同生命保険株式会社とコラボして、事業主・人事労務担当者様を対象としたセミナーを「**2Days**」で開催します。

当日は、医師や保健師の講演のほか、がんサバイバーの方や取組を積極的に行った企業もお迎えし、取組事例の発表やディスカッションも行います。

本セミナーを通じて、従業員のがん対策をはじめとした健康保持・増進に関する取組や、がん罹患した際の雇用の継続及びがん患者の新規雇い入れについて理解を深め、ノウハウを持ち帰り、実践していただくきっかけになればと考えております。

- 1 日 時 令和5年5月16日（火）・24日（水）
18:00～19:30（受付 17:30～）
※アーカイブ配信：令和5年6月1日（木）～30日（金）
- 2 場 所 大同生命保険株式会社 大阪本社5F会議室
大阪市西区江戸堀1丁目2番1号（※会場定員 150名）
- 3 対 象 者 事業主・人事労務担当者
- 4 開催形式 ハイブリッド型（参集・リアル・アーカイブ）

5 内 容

Day 1 【テーマ】予防・早期発見

(1) 「中小企業におけるがん対策の取組と効果」

講師 東京大学医学部

特任教授 中川 恵一 氏

(2) ディスカッション

・ゲスト企業

社会福祉法人 青谷学園

法人本部 事務局長 鈴木 由里子 氏

・ファシリテーター

がん対策推進企業アクション

アドバイザリーボードメンバー

阿南 里恵 氏

・パネリスト

東京大学医学部

特任教授 中川 恵一 氏

Day 2 【テーマ】治療と仕事の両立支援

(1) 「ここまで進んだがん治療！ーなぜ、今、就労支援が必要なのか？ー」

講師 地方独立行政法人 市立東大阪医療センター

特任院長 東山 聖彦 氏

(2) 「事業場におけるがん治療と職業生活の両立支援について

～バランス支援という思い～」

講師 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪産業保健総合支援センター

保健師 藤吉 奈央子 氏

(3) ディスカッション

・ゲスト企業

興國車輛株式会社

代表取締役社長 禿 裕隆 氏

・ファシリテーター

がん対策推進企業アクション

アドバイザリーボードメンバー

阿南 里恵 氏

・パネリスト

地方独立行政法人 市立東大阪医療センター

特任院長 東山 聖彦 氏

独立行政法人労働者健康安全機構 大阪産業保健総合支援センター

保健師 藤吉 奈央子 氏

6 主 催 大阪労働局・大阪府地域両立支援推進チーム

大同生命保険株式会社

東京大学大学院医学系研究科総合放射線腫瘍学講座

独立行政法人労働者健康安全機構 大阪産業保健総合支援センター

協 力 がん対策推進企業アクション事務局（厚生労働省委託事業）

◎取材対応について

当日取材を希望される場合は、前日までにご連絡ください。

【問い合わせ先】大阪労働局職業安定部職業安定課（君野・宮岡）

【電話番号】 06-4790-6302

※なお、撮影される際には、個人が特定されることのないよう、プライバシーに配慮願います。

経営者・人事労務担当者向けセミナー

～「がん」になっても働ける職場を目指して～

「社員の健康維持と、 治療と仕事の両立」



会場:大同生命保険株式会社
大阪本社5F 会議室
大阪市西区江戸堀1丁目2番1号
(大阪メトロ四ツ橋線 肥後橋駅1-A出口スグ)
※駐車場はございませんので
公共交通機関の利用にご協力下さい。

参加無料

※定員150名(先着順)

WEB同時配信！
アーカイブ配信も実施！
(2023/6/1～30 HPにて公開)

2023年5月16日(火)・24日(水)の2DAYS

「がん」の予防・治療におけるキャリア豊富なドクターと保健師の方々を迎え、主に中小企業の経営者を対象に、1日目は企業のがん対策の取組状況や健康経営について、2日目は社員が「がん」などの治療・療養が長期にわたる疾病を抱えた際にどう向き合っていくかを考えるセミナーです。
両日とも積極的に取り組まれた経験のあるゲスト企業様とのディスカッションもご用意しております。

講師紹介は裏面へ！

5月16日(火) 18:00～19:30
テーマ
予防・早期発見

「中小企業におけるがん対策の取組と効果」

東京大学医学部
特任教授 中川 恵一 氏

ー ゲスト企業 ー

社会福祉法人 青谷学園
法人本部 事務局長 鈴木 由里子 氏

ディスカッションファシリテーター

がん対策推進企業アクションアドバイザーボードメンバー
阿南 里恵 氏 (2DAYS登壇)

5月24日(水) 18:00～19:30
テーマ
治療と仕事の両立支援

「ここまで進んだがん治療！
ーなぜ、今、就労支援が必要なのか？ー」

市立東大阪医療センター
特任院長 東山 聖彦 氏

「事業場におけるがん治療と職業生活の
両立支援について～バランス支援という思い～」

大阪産業保健総合支援センター
保健師 藤吉 奈央子 氏

ー ゲスト企業 ー

興國車輛株式会社
代表取締役社長 禰 裕隆 氏

主催：大阪労働局・大阪府地域両立支援推進チーム

大同生命保険株式会社

東京大学大学院 医学系研究科総合放射線腫瘍学講座

独立行政法人 労働者健康安全機構

大阪産業保健総合支援センター

協力：がん対策推進企業アクション事務局

(厚生労働省委託事業)

お申込み・お問い合わせ

申込は、次のURLまたは二次元コードから申込ページにアクセスし、
申込者情報を入力、登録してください。

申込はこちら

大同生命HP

※お電話でお申込みいただくことも可能です。

※アーカイブ配信の視聴は申込不要です。大同生命HPの
「セミナー・イベント」からアクセスして視聴ください。

URL:https://ma-dodai.daido-life.co.jp/20230516_corpseminar.html



大同生命セミナー事務局

TEL 03-3272-6212

Mail kouhou@daido-life.co.jp

講師紹介

day1



中川 恵一
(なかがわ けいいち) 氏

東京大学医学部 総合放射線腫瘍学講座 特任教授
昭和60年、東京大学医学部医学科卒業後、東京大学医学部放射線医学教室入局。
スイスPaul Sherrer Instituteへ客員研究員として留学後、東京大学医学部付属病院放射線准教授・緩和ケア診療部長を兼任し、現在は放射線腫瘍学講座特任教授。
これまでがんの臨床に約48年間・3万人を超える様々な患者と向き合い寄り添ってきた臨床のスペシャリスト。
国家プロジェクト「がん対策推進企業アクション」の議長も務める。

day2



東山 聖彦
(ひがしやま まさひこ) 氏

地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 特任院長
1954年、豊中市生まれ。＜専門：呼吸器外科学・呼吸器腫瘍学＞
1980年、大阪大学医学部医学科卒業。
神戸掖済会病院、大阪大学医学部附属病院勤務を経て、1989年より大阪府立成人病センター呼吸器外科着任。2014年より同センター副院長 兼 呼吸器外科主任部長。2017年4月、大阪国際がんセンターへ施設名改称し、副院長（兼）相談支援センター長となる。2020年4月より市立東大阪医療センターにて特任院長として勤務、現在に至る。
大阪国際がんセンター時代には、大阪府がん診療連携協議会地域連携クリティカルパス部会・相談支援センター部会の両部会の長を務め、大阪府のがん対策において重要な役割を担う。2021年度から2年間は、中河内がん診療ネットワーク協議会会長を担当し、現在も肺がん治療に加え、がん相談支援センターや地域医療連携の業務にも関わっている。

day2



藤吉 奈央子
(ふじよし なおこ) 氏

大阪赤十字看護専門学校卒業し、看護師として精神科閉鎖病棟に2年間勤務。病状が悪化して入院される方を看護する中で、“悪くなる前に社会で出来る事はないか？”と予防医学への思いが募り、保健師を目指すため滋賀医大に編入。
大学卒業後、企業専属の保健師として、製造業で3年、金融業で9年勤務。それまでのキャリアから“専属で保健師のいない組織に関わりたい”と考え2016年4月フリーの保健師として独立。両立支援促進員の仕事はその活動の一つで、同年10月より従事。これまでの産業保健師としての経験をもとに、働く人と組織のどちらにも偏りすぎないバランスの取れた支援を心掛けている2022年3月から産業保健活動をより効率的に展開する事を目指し法人設立。

day1・2



阿南 里恵
(あなみ りえ) 氏

元厚生労働省 がん対策推進協議会委員
厚生労働省委託事業 がん対策推進企業アクション アドバイザリーボードメンバー
1981年生まれ、大阪府東大阪市出身。
2004年23歳のときに子宮頸がん2b期に罹患。抗がん剤治療、子宮全摘出手術、放射線治療を受け、2009年に経過観察を終了するも後遺症を発症。
がん治療による様々な影響を受けながらも、いかに自分らしく生きるかに重点を置き、これまで多業種での勤務を経験してきた。自らの経験を活かし、がんサバイバーの就労問題や学校での命の授業に取り組んでいる。